

自己評価結果届出書

令和 6 年 2 月 2 日

那 覇 市 長 宛

所在地 沖縄県南城市大里字大城1388-1

法人名 社会福祉法人ニライカナイ

代表者 職 氏名 理事長 豊村 良春



1 事業所情報

事業所名	児童デイサービスのびと				
事業所番号	4750100143				
事業の種別 (多機能型は2 つにチェック)	☐	児童発達支援	指定年月日	平成	年 月 日
	☒	放課後等デイサービス	指定年月日	平成 24 年	4 月 1 日
所在地	沖縄県那覇市小禄964-1				

2 公表状況

公表日	令和 6 年 2 月 1 日				
公表方法	《児童発達支援》				
	☐	ホームページ掲載 (URL http://www.kouseinomura.org)			
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)			
	☐	その他 (具体的な方法)			
	《放課後等デイサービス》				
	☒	ホームページ掲載 (URL http://www.kouseinomura.org)			
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)			
	☐	その他 (具体的な方法)			
公表内容	各サービスの自己評価結果及び保護者等集計結果を添付すること。				

担当者名	玉城 恒
連絡先電話番号	098-858-1663

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年2月1日

事業所名 児童デイサービスのびと

保護者等数(児童数) 17名

回収14名

(兄弟含む)割合 82%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	3			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	2			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	1			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	7	1		
保護者 への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	5	2		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2			
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1			
非常時 等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	14				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	4			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	5			
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1		正直なところ本人は学童が好きなようです。学童はテレビやアニメ、漫画が見れるからと言っていました。	こちらでも、充実した遊びなどを提供できるようにしていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	13	1			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月1日

事業所名 児童デイサービスのびっと

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			パーティション(仕切り)を活用している。	今後も工夫しながら構造化を図りましょう。
	2	職員の配置数は適切であるか	5				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	2	数か所に不備がある。	整備箇所を確認していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2		感染対策の一環で行えていない。	今後、機会を設けていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			日課や活動をみんなで考えている。	今後も継続していきましょう。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			皆で確認して改善している。	今後も継続していきましょう。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2		充分ではない。	課題をあげて対応していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			落ち着けるように個別支援している。	今後も継続していきましょう。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			日課など役割を決めている。	今後も継続していきましょう。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		情報共有をおこなっている。	今後も継続していきましょう。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			日々の記録をその日で終えるようにしている。	今後も継続していきましょう。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			職員から聞き取りを行っている。	今後も継続していきましょう。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	3			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	児童館や公園などへよく行っている。	今後も継続していきましょう。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	1	今後は参加が必要。	今後、機会を設けていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			日頃の活動を報告している。	今後も継続していきましょう。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2		その場で適切な助言ができるように知識をつけている。 相談の手助けになっているかわからない。	今後も継続していきましょう。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5		感染対策で行えていない。	今後、機会を設けていきます。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			ミーティングを開き解決に向けて何をすべきかを話している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		日課の活動の写真をまとめて月ごとにおたよりで発信している。 充分ではない。	
	35	個人情報に十分注意しているか	5			子どもたちの写真や名前等、情報を外部に出さないようにしている。	今後も継続していきましょう。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			ジャスチャーを活用している。	今後も継続していきましょう。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3		感染予防で行えていない。	今後、機会を設けていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3		しっかりと目を通して、認識していく。 対応できるようにしていきたい。	今後、機会を設けていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	4		充分でない。	今後、機会を設けていきます。

自己評価結果届出書

令和 6 年 2 月 2 日

那 覇 市 長 宛

所在地 沖縄県南城市大里字大城1388-1

法人名 社会福祉法人ニライカナイ

代表者 職 氏名 理事長 豊村 良春



1 事業所情報

事業所名	児童デイサービスのびっと2				
事業所番号	4750100317				
事業の種別 (多機能型は2 つにチェック)	☐	児童発達支援	指定年月日	平成	年 月 日
	☒	放課後等デイサービス	指定年月日	平成 25 年	8 月 1 日
所在地	沖縄県那覇市小禄5-16-3				

2 公表状況

公表日	令和 6 年 2 月 1 日				
公表方法	《児童発達支援》				
	☐	ホームページ掲載 (URL http://www.kouseinomura.org)			
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)			
	☐	その他 (具体的な方法)			
	《放課後等デイサービス》				
	☒	ホームページ掲載 (URL http://www.kouseinomura.org)			
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)			
	☐	その他 (具体的な方法)			
公表内容	各サービスの自己評価結果及び保護者等集計結果を添付すること。				

担当者名	玉城 恒
連絡先電話番号	098-858-1663

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年2月1日

事業所名 児童デイサービスのびと2

保護者等数(児童数) 22名 回収数5名 割合23%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	5				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4	1			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	コロナ禍なので…。障がいのない子たちとの交流はない。	今後は交流の機会をつくり、報告もしていきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	1	コロナ禍なので…。保護者との交流はない	保護者との交流の機会も設けていきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1			
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5			連絡帳や送迎時に色々と伝達してくれ、とても助かります。	ありがとうございます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5				
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	5				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	1			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1			
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	5			とても楽しみにしています。	ありがとうございます。
	18	事業所の支援に満足しているか	5			皆さんとても丁寧にされています。	ありがとうございます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月1日

事業所名 児童デイサービスのびっと2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	1	戸外での日課や、日課内容を分けてみんなが参加できるようにしている。	スペース確保できるような環境整備をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	6				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			毎日の振り返りミーティング等	今後も継続していきましょう。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			毎月のOJT,職務会などの実施。	今後も継続していきましょう。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			計画はあり、実施している。 内容の深堀が必要。	今後も継続していきましょう。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			日課ミーティングを行っている。	今後も継続していきましょう。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		曜日による活動は決まっているが、内容を変化させている。	今後も、計画はしっかりと立てながら、臨機応変な対応もできるようにしたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		長期、短期での目標は決めている。	今後も継続していきましょう。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			個別ができない状況も時々ある。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			記入だけでなく、口頭でも共有している。	今後も継続していきましょう。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4		医療的ケア対象の利用者がいない。(てんかん発作の対応はある)	対応方法はみんなですっきりと共有していきましょう。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2		クラスが上がってきた児童の情報共有を行っている。	今後も継続していきましょう。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	2		私は、参加できていないが、管理者が参加している。	今後は、皆さんも含めて参加できる機会を作っていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2		毎日の情報共有は行っているが、会えない保護者もいる。	今後も継続していきましょう。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4		ペアトレは知っているが、保護者へ案内したことはない。	今後は情報収集や発信なども検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		説明をしたことはないが、説明をしていると聞いたことがある。支援内容については話している。利用負担については話していない。	今後は、皆さんも含めて説明できる機会を作っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2	1	悩みを聞いて助言するのが緊張する。若いから助言して良いのかわからない。	OJTやOFFJT等で、知識・理解を深めて相談や説明できるようにしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3		来年度は開催できるようにしたい。	開催の計画を立てていきましょう。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4	行なっているところもある。	今後も継続していきましょう。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		情報共有の際に伝える内容や伝え方に工夫している。 もっと工夫していきたい。	今後も継続していきましょう。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			

自己評価結果届出書

令和 6 年 2 月 2 日

那 覇 市 長 宛

所在地 沖縄県南城市大里字大城1388-1

法人名 社会福祉法人ニライカナイ

代表者 職 氏名 理事長 豊村 良春



1 事業所情報

事業所名	児童デイサービスのびっと3				
事業所番号	4750100374				
事業の種別 (多機能型は2 つにチェック)	☒	児童発達支援	指定年月日	平成 26 年 5 月 1 日	
	☐	放課後等デイサービス	指定年月日	平成 年 月 日 令和	
所在地	沖縄県那覇市小禄964-1				

2 公表状況

公表日	令和 6 年 2 月 1 日				
公表方法	《児童発達支援》				
	☒	ホームページ掲載 (URL http://www.kouseinomura.org)			
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)			
	☐	その他 (具体的な方法)			
	《放課後等デイサービス》				
	☐	ホームページ掲載 (URL http://www.kouseinomura.org)			
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)			
	☐	その他 (具体的な方法)			
公表内容	各サービスの自己評価結果及び保護者等集計結果を添付すること。				

担当者名	玉城 恒
連絡先電話番号	098-858-1663

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業者名 児童デイサービスのびと3

保護者等数(児童数) 7名 回収数6名 割合 86%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	4			2	食事の面でも言葉の面でもいろいろな面で、子どもに合ったプログラムを考えてくれている。	今後も継続していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5			1		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	6					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	2			季節の行事をプログラムしてくれていて色々な事を体験させてもらっています。	今後も継続していきます。
	8	活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	5			1		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2			4		
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5			1		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5			1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	4		2			
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4	2				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	2				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3		3			
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	2			いつも相談したことはすぐには実行してくれてありがたいです。 職員は一生懸命保護者の相談に耳を傾けてくれる。それに対して対策してくれる。	ありがとうございます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	2			職員は共有して子供の情報を知ってくれています。	今後も継続していきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4			2		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2		1	3	バスに緊急ボタンが設置されたことなど知らせてくれたりしています。	今後も継続して周知していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			4		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4	2			車で送っていくと、到着後すぐに行きたがります。すごく楽しそうで、一生懸命様子を伝えようとしています。	ありがとうございます。
	23	事業所の支援に満足しているか	4	2			満足しています。いつもありがとうございます。いつも対応が丁寧です。	ありがとうございます。

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援計画書に示されています。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

（保護者等の皆様へ）

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

事業所職員向

児童発達支援自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月1日

事業所名 児童デイサービス のびっと3

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2	分かりづらい部分はあると思う。空間の使い方は必要。お昼寝の場所。	今後も検討を図りながら最適な構造化に取り組んでいきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1	ミーティングで話す機会を作っている。	今後も継続していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	外部評価を受けているかわからない。	今後、機会を設けていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	アセスメントを改善したい。	今後、機会を設けていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		都度ミーティングを行っている。5領域をまんべんなくカバーしている。	今後も継続していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	2	2	個別ができていない。個別活動が少ない。	今後機会を設けていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	時間を見つけて質問するようにしている。 終りが出来ていない。	今後機会を設けていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	2		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	3	医療機関との連絡はとっていない。	今後機会を設けていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	スポーツ交流などの運動会を行っている。	今後も継続していき、周知もしていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	3	ペアトレのことについて勉強したい。 性教育講座の実施。	今後機会を設けていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	1			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	保護者会の開催。	今後機会を設けていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	2		

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

自己評価結果届出書

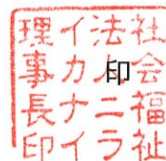
令和 6 年 2 月 2 日

那 覇 市 長 宛

所在地 沖縄県南城市大里字大城1388-1

法人名 社会福祉法人ニライカナイ

代表者 職 氏名 理事長 豊村 良春



1 事業所情報

事業所名	児童デイサービスのびっと4(男塾)				
事業所番号	4750100424				
事業の種別 (多機能型は2 つにチェック)	☐	児童発達支援	指定年月日	平成 令和	年 月 日
	☒	放課後等デイサービス	指定年月日	平成 27 年	9 月 1 日
所在地	沖縄県那覇市字小禄4-15-5				

2 公表状況

公表日	令和 6 年 2 月 1 日				
公表方法	《児童発達支援》				
	☐	ホームページ掲載 (URL http://www.kouseinomura.org)			
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)			
	☐	その他 (具体的な方法)			
	《放課後等デイサービス》				
	☒	ホームページ掲載 (URL http://www.kouseinomura.org)			
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)			
	☐	その他 (具体的な方法)			
公表内容	各サービスの自己評価結果及び保護者等集計結果を添付すること。				

担当者名	玉城 恒
連絡先電話番号	098-858-1663

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年2月1日

事業所名 児童デイサービスのびと4(男塾)

保護者等数(児童数) 20名 回収数10名

(兄弟含む)割合 50%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	6			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2		職員さんの名前がわかりません。配置数等、どんな資格保持者等もわからない。	職員の適正配置や資格要件は満たしている。しっかりと周知していきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	4			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	1			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	3	1		
保護者 への説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	2			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	3			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	4			
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3			
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	2			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1			
非常時 等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	10				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	3		聞いたことがないのでわからない。	しっかりとマニュアルの配布や説明を行なって参ります。
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	2			
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1			
	18	事業所の支援に満足しているか	7	3			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月1日

事業所名 児童デイサービスのびっと4(男塾)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4				
	2	職員の配置数は適切であるか	4				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4				

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4				
	35	個人情報に十分注意しているか	4				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4				
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1			

自己評価結果届出書

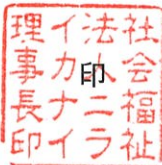
令和 6 年 2 月 2 日

那 覇 市 長 宛

所在地 沖縄県南城市大里字大城1388-1

法人名 社会福祉法人ニライカナイ

代表者 職 氏名 理事長 豊村 良春



1 事業所情報

事業所名	児童デイサービスのびっとANO-ANO					
事業所番号	4750100630					
事業の種別 (多機能型は2 つにチェック)	☒	児童発達支援	指定年月日	平成	29 年	4 月 1 日
	☒	放課後等デイサービス	指定年月日	平成	29 年	4 月 1 日
所在地	沖縄県那覇市小禄964-1					

2 公表状況

公表日	令和 6 年 2 月 1 日		
公表方法	《児童発達支援》		
	☒	ホームページ掲載 (URL http://www.kouseinomura.org	
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)	
	☐	その他 (具体的な方法)	
	《放課後等デイサービス》		
	☐	ホームページ掲載 (URL http://www.kouseinomura.org	
	☐	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)	
	☐	その他 (具体的な方法)	
公表内容	各サービスの自己評価結果及び保護者等集計結果を添付すること。		

担当者名	玉城 恒
連絡先電話番号	098-858-1663

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業者名 児童デイサービスのびっとANO-ANO

保護者等数(児童数)16名 回収数12名 割合 75%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10			2	食事の面でも言葉の面でもいろいろな面で、子どもに合ったプログラムを考えてくれている。	今後も継続していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11			1		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	12				長期、短期計画がしっかりと作成されておりわかりやすい。	今後も継続していきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	2			季節の行事をプログラムしてくれていて色々な事を体験させてもらっています。	今後も継続していきます。
	8	活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	11			1	毎日の活動がしっかりと計画されていて良いと思う。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5			7	情報として交流等の実際がわからない。	今後、交流等行った際には周知していきます。
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11			1		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10	1		1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	9		2	1		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	2				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2		1		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	3	3		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	2			いつも相談したことはすぐに実行してくれてありがたいです。 職員は一生懸命保護者の相談に耳を傾けてくれる。それに対して対策してくれる。	ありがとうございます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	2			職員は共有して子供の情報を知っています。	今後も継続していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8			4		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	1	1	5	バスに緊急ボタンが設置されたことなど知らせてくれたりしています。	今後も継続して周知していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1		8	把握が来ていません。	今後の訓練の際にはしっかりと周知していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2			車で送っていくと、到着後すぐに行きたがります。すごく楽しそうで、一生懸命様子を伝えようとしています。通所のお迎えの時に笑顔で行ってくれており感謝です。	ありがとうございます。
	23	事業所の支援に満足しているか	10	2			満足しています。いつもありがとうございます。いつも対応が丁寧です。とても良くていただき満足しています。	ありがとうございます。

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理手帳に記載することです。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

（保護者等の皆様へ）

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

事業所職員向

児童発達支援自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月1日

事業所名 児童デイサービス のびっとANO-ANO

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	定期的に環境の見直しが必要。 おおむね適切だと思うがその都度、声をあげるようにしている。	今後、改善できるように取り組んでいきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		参加できていない。(難しい)事業所への配慮をお願いしたい。	今後機会を設けていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	出来る時とそうでない時がある。	今後機会を設けていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	1		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	1		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	交流が持てるようにしたい。	今後機会を設けていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	2		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	父母会実施にいたっていない為、定期的に行えると良い。	今後機会を設けていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	1		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5			

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。